

キャラクター名
薄陽 小春(はくよう こはる)

プレイヤー名

シンドローム	エンジェルヒロウ ウロボロス	ワークス	UGN	エージェントD	カヴァー	高校生
オプション		年齢	15		性別	女
覚醒	渴望	衝動		恐怖	初期侵食率	50%
出自	安定した家庭	経験		消せない傷	邂逅	親友

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	25
肉体	1	0	0			1	行動値	14
感覚	4	0	0			4	(非装備時)	14
精神	3	0	0			3	戦闘移動	19
社会	0	1	0			1	全力移動	38

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	6	3	交渉	1	
回避			知覚	1		意志	5		調達	1	
運転:			芸術:			知識:			情報: UGN	3	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
「閃光」	RC	11r+9		7		<破壊の光><魔獣の衝撃><混色の氾濫>
「流星」	RC	11r+9		7		<絶対の孤独><背教者殺し>+「閃光」

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
エンブレム: デリバリー	
思い出の一品	
ストレンジフェイス	
アルティメイド服	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
Dロイス: 対抗種P		N		
結姫 詩響	P 慕情	N 悔悟		
瀬渡ソニア	P 友情	N 隔意		
ミュウ	P 友情	N 不安		
風鳥翼	P 尊敬	N 劣等感		
ミカルエル	P	N		
キアリーア	P	N		

最大財産P: 4 残り財産P: 2

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
CL:エンハイ	3	2	メジャー	-	-	シンドローム	-	
効果: CL-lv (下限7)								
破壊の光	3	2	メジャー	視界	範囲選択	RC	-	
効果: 攻撃力: +2 同エンゲージ攻撃不可								
原初の赤: 魔獣の衝撃	5	3	メジャー	視界	-	RC	-	
効果: 射撃攻撃 攻撃力: +5 判定ダイス+lv								
絶対の孤独	3	3	メジャー	視界	単体	RC	-	
効果: 射撃攻撃 命中によりそのラウンドの間、対象のすべての判定ダイスを-(lv+1)								
背教者殺し	5	3	メジャー	-	-	白兵RC	-	
効果: 1点でもダメージを与えた場合そのラウンド間、対象のすべての判定ダイスを-(lv+1)。オーヴァードのみ。								
混色の氾濫	2	2	メジャー	-	範囲選択	シンドローム	-	
効果: 原初の赤を範囲選択へ変更								
主の恩恵	3	2	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果: そのメインプロセスの間エンハイを組み合わせた判定ダイス+lv個。								
原初の虚: 神速の鼓動	1	※	メジャー	視界	シーン選択	効果参照	※	
効果: あらゆるエフェクトと組み合わせられる。組み合わせたエフェクトをシーン選択視界に変更する。								
光の守護	1	※	オート	至近	自身	自動	※	
効果: 重圧でも使用可。HPダメージを0にする。								
恐怖の加護	1	※	メジャー	視界	範囲選択	自動	※	
効果: 対象の次のメジャーアクションC値-1(下限6)攻撃力+lv*3。自身対象不可。バステ暴走を受ける。								
尾を喰らう蛇	1	4	セットアップ	至近	自身	自動	-	
効果: 1DHPを失う。オーヴァードに1点でもHPダメージを与えた際に使用するエフェクトをひとつ使用できる								
背徳の理	3	3	オート	至近	自身	自動	-	
効果: あなたがオーヴァードに1点でもダメージを与えた際に使用する。そのシーンの間判定ダイス+lv*2個。								
原初の黒: リミットリリース	1	8	オート	至近	自身	自動	100	
効果: C値-1(下限5)								

リディアン音楽院に通う高校生であり、特殊オーヴァード。少し大人しい性格であるが、とびきり元気な親友の詩響といことでもっばら彼女の保護者役。

2年前の事件が起こったその場所に詩響を連れ出したのが自身であり、一度と目の前で彼女が息を引き取った事実で強い負い目とトラウマを抱いている。目の前で失われるもっとも大切な命への絶望と恐怖が彼女のレネゲイドへの適合を促進させ、オーヴァードとして目覚めさせた。

彼女の絶唱はきつと誰よりも大好きな親友の、彼女のためだけにある。

